

〈 施工説明書 〉

木製エクステリア
デッキ用フェンス株式会社 ウッドワン 〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

商品相談窓口



0120-813-331

【受付時間】平日8:30~17:00 【休日】土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

このたびはWOODONEの商品をご利用いただき、厚くお礼申し上げます。
 施工前にはこの説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願いいたします。
 なお、お気付きの点、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく弊社までお問い合わせください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じる恐れがあります。確実にお守りください。



必ずおこなう

・固定金具等でしっかりと固定してください。

傾いて製品が破損しやすくなったり、転倒してケガをする恐れがあります。

・ウッドデッキ上にフェンスを設置する場合は、強度確保の為必ずL字型に組合わせてください。

ハイフェンスを設置する場合は、控え柱を使用してください。

・必ず木材保護塗料を使用して塗装を行ってください。

ニスやペンキによる塗装は絶対に避けてください。(表面に形成する塗膜により木の呼吸が止められ、ひび割れの原因になります。)
 また、塗装の際には、塗料に記載されている注意事項を厳守してください。塗装時には必ず換気を行ってください。

注意!

・軍手、安全靴等の保護用具を着用して施工してください。

ケガ防止になります。

・ささくれの有無を確認してください。

ささくれがある場合には、ヤスリやサンドペーパーで除去してください。

・切り粉を吸い込まないように注意してください。

部材を切断される時に特にお気を付けください。

〈開梱〉

梱包内訳表

デッキ用フェンス (手すりタイプ)

部材名	サイズ	備考
⑥ デッキ用柱	800×85×85 1100×85×85	
⑧⑨ 上棧下棧セット	1370×105×36	
ラチスフェンス	1136×692×20 1136×992×20	
格子フェンス	1136×692×20 1136×992×20	
クロスバー	1296×105×36 1473×105×36	
柱固定金具		柱1本分が1セットになります。

デッキ用ハイフェンス

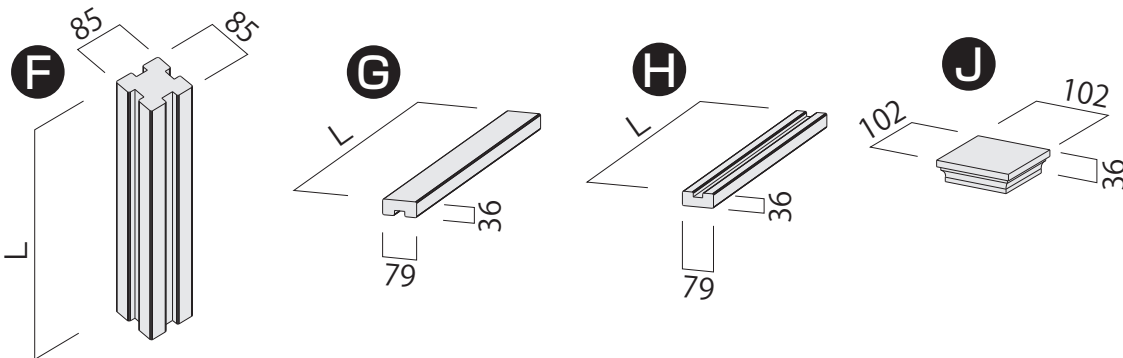
部材名	サイズ	備考
⑥ デッキ用柱	1830×85×85	
控え柱セット [専用] [コーナー用]	378×85×85	
⑧⑨ 上棧下棧セット	1111×79×36	
ラチスフェンス	1136×1662×20	
格子フェンス	1136×1662×20	
柱固定金具		柱1本分が1セットになります。

オプション部材

部材名	サイズ	備考
手摺連結キャップ		
手摺90° コーナーキャップ		
手摺エンドキャップ		

オプション部材

部材名	サイズ	備考
⑩ 柱キャップ (木製)	102×102×36	
柱キャップ (樹脂製)		



〈基本伏図〉

デッキ用フェンス		デッキ用ハイフェンス
H=800タイプ	H=1100タイプ	H=1800タイプ
<p>フェンスH=830 柱芯=1,200</p>	<p>フェンスH=1,130 柱芯=1,200</p>	<p>フェンスH=1,800 柱芯=1,200</p>

〈施工手順〉

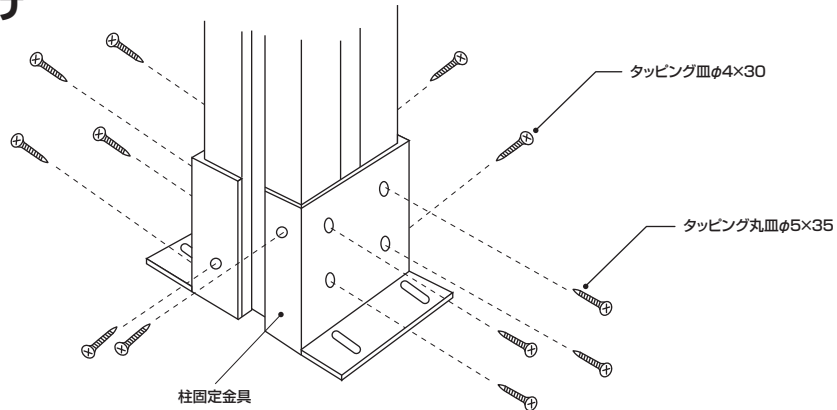
デッキ用フェンス (手すりタイプ)

1 商品の確認

商品の数量・サイズが正しいか確認してください。

2 柱に柱固定金具の取り付け

柱1本につき柱固定金具2ヶ使用します。



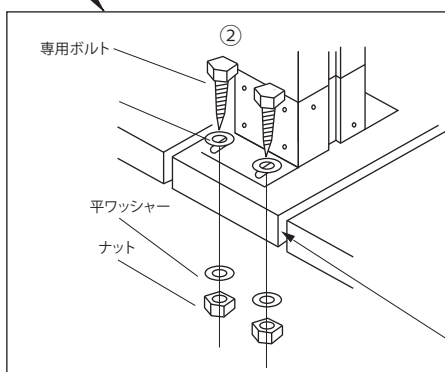
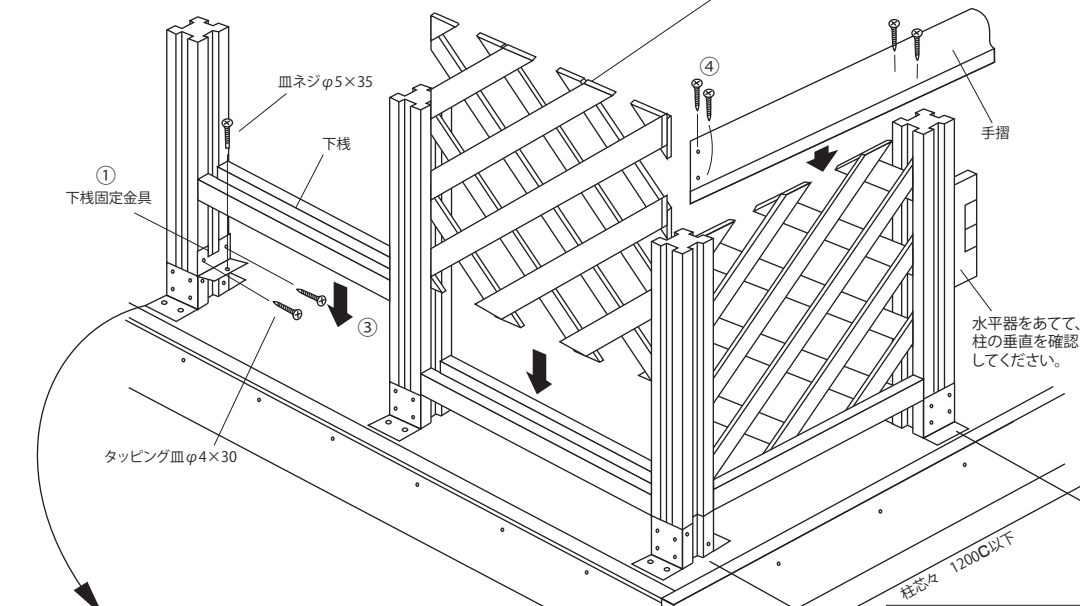
3 デッキ面に柱・下柵・フェンス・手摺の取り付け

- ① 下柵固定金具を柱にビス固定してください。
(柱固定金具に下柵固定金具の底面が接するように)
- ② 下柵固定金具に下柵をあて柱の位置決めをし、床に下穴を開けて専用ボルトを打ち込んでください。
- ③ 下柵を下柵固定金具に本固定し、フェンスを入れてください。
- ④ 手摺を固定します。

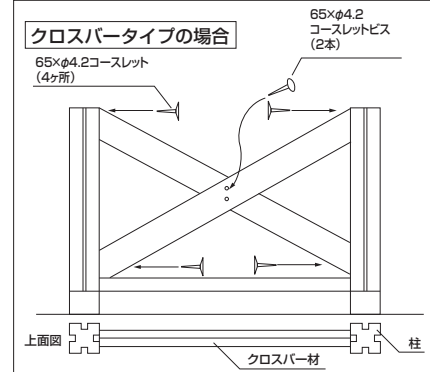
柱芯々が1200mm以下の場合

フェンスと下柵をカットしてご使用ください。

※ストライプフェンスについては一度片側の組み立てビスを抜いた後カットして、もう一度ビスを打ち込んでください。



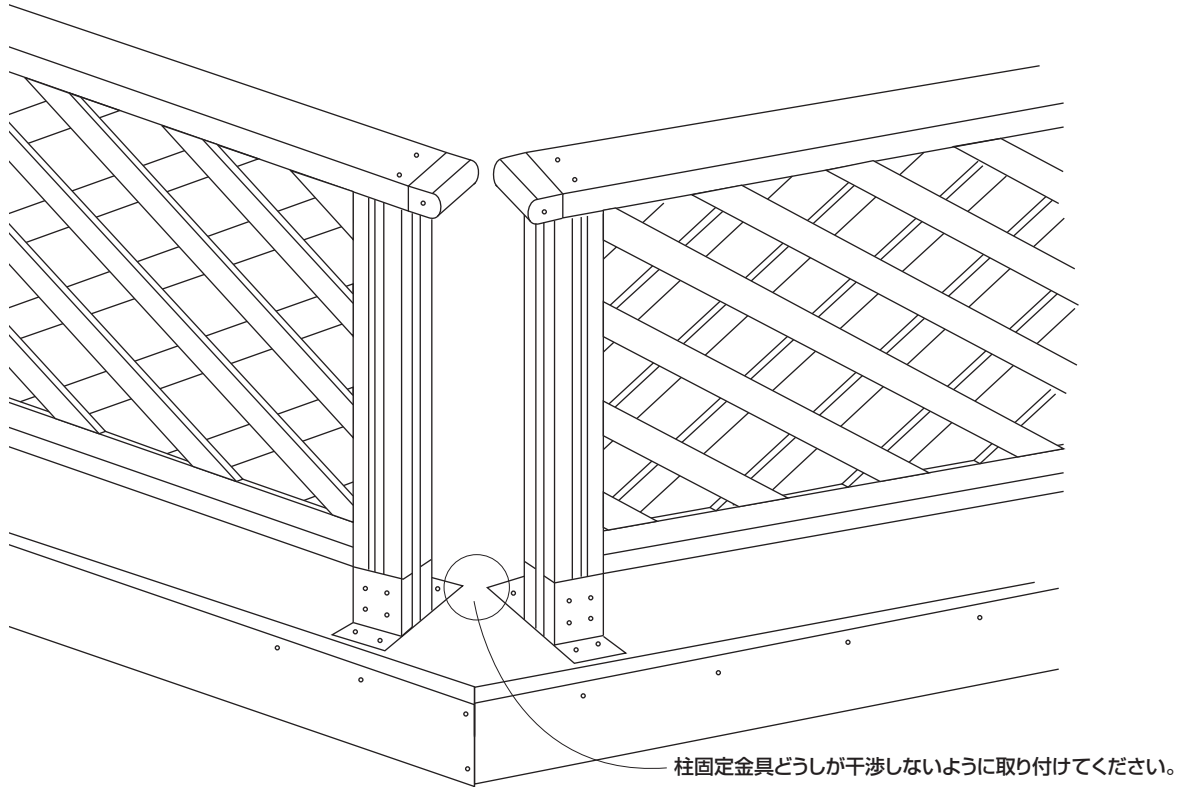
φ6mmの下穴(貫通)を開けてから専用ボルトを打ち込んでください。
※裏面の平ワッシャーとナットが大引き等に干渉する場合、下穴を深さ60mm以上あけてください。
(このとき裏面の平ワッシャーとナットは使用しません。)



4 フェンスの取付角度が90° 以外施工

柱を2本立ててご使用の場合

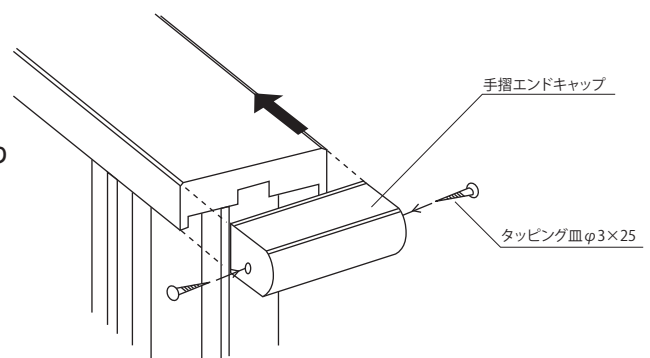
- ① コーナー部の柱固定金具が干渉しないようにフェンス角度を合わせて床に固定してください。
- ② 下柵とフェンス・手摺を前述の方法で取り付けてください。



手摺用オプション部材

手摺エンドキャップ

手摺エンドキャップご使用の際は手摺を柱より20mm以上出しておいてください。



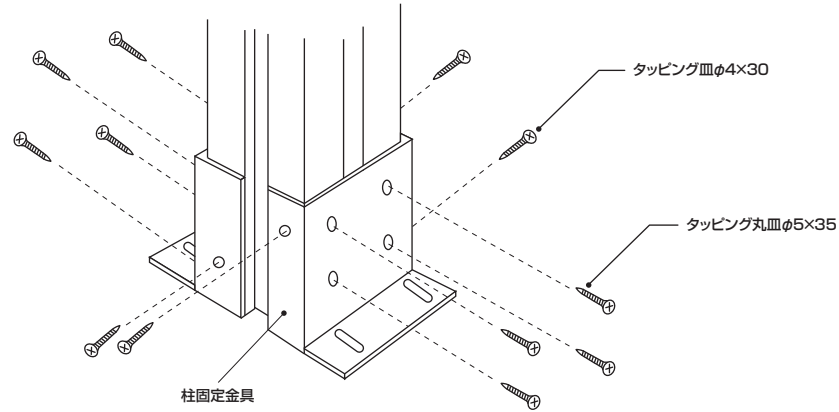
デッキ用ハイフェンス

1 商品の確認

商品の数量・サイズが正しいか確認してください。

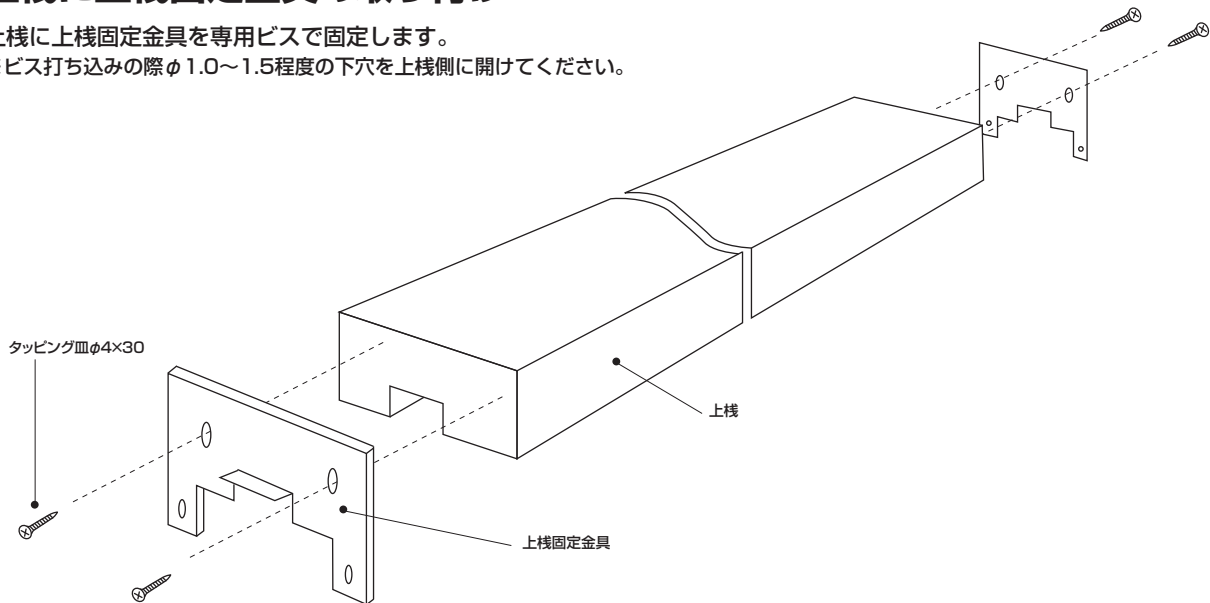
2 柱に柱固定金具の取り付け

柱1本につき柱固定金具
2ヶ使用します。



3 上棧に上棧固定金具の取り付け

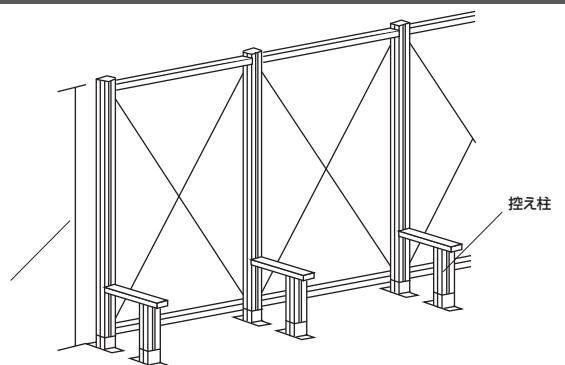
上棧に上棧固定金具を専用ビスで固定します。
※ビス打ち込みの際φ1.0~1.5程度の下穴を上棧側に開けてください。



⚠ 注意

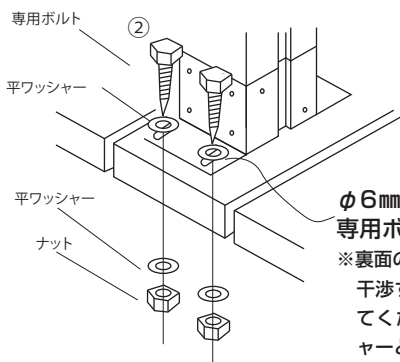
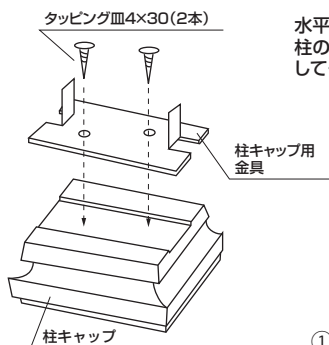
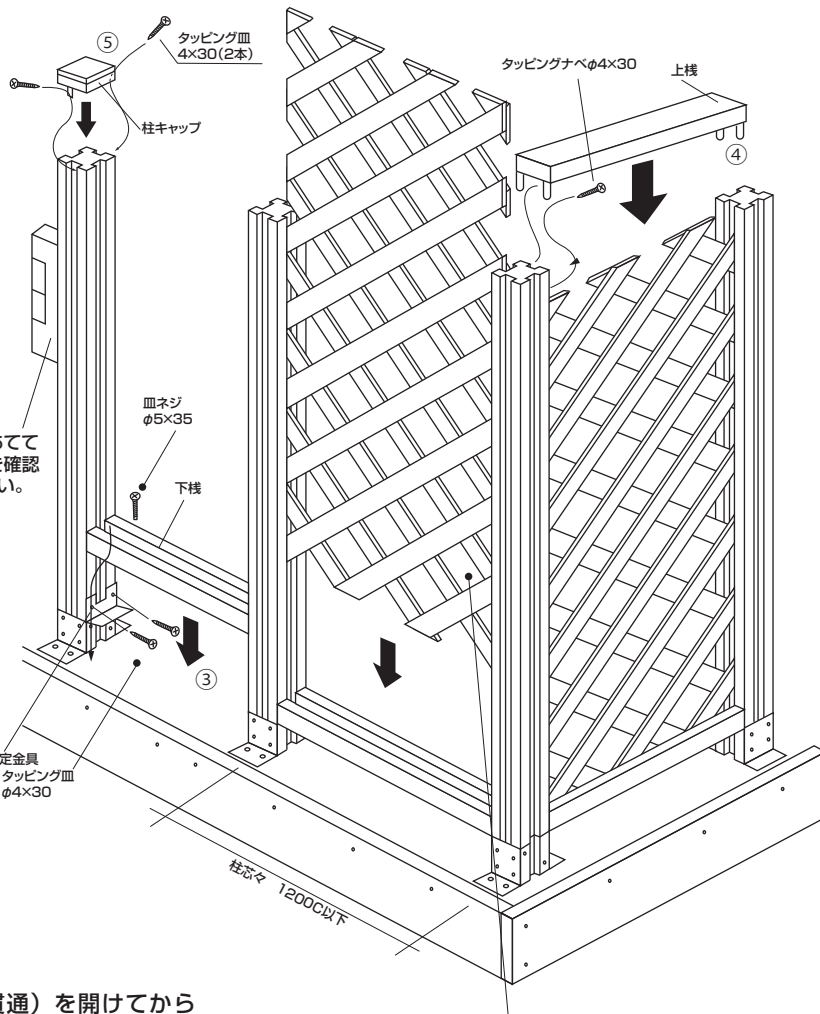
- ・H=1800タイプのフェンスには「控え柱」を必ず使用ください。
※控え柱にはベンチとしてのご利用提案もございます。
- ・柱L=2200mmのタイプは、デッキ上の施工ではパーゴラタイプの
枠状に組んだもののみ施工可能です。単独フェンスとしてはご使用
できません。

柱L=1830まで
L=2200は不可



4 デッキ面に柱・下桟・フェンス・手摺の取り付け

- ① 下桟固定金具を柱にビス固定してください。
(柱固定金具に下桟固定金具の底面が接するように)
- ② 下桟固定金具に下桟をあて柱の位置決めをし、床に下穴を開けて専用ボルトを打ち込んでください。
- ③ 下桟を下桟固定金具に本固定し、フェンスを入れてください。
- ④ 上桟を柱へビス固定してください。
- ⑤ 柱キャップを柱上部へ固定してください。
柱キャップ裏面に柱キャップ用金具を固定してください。



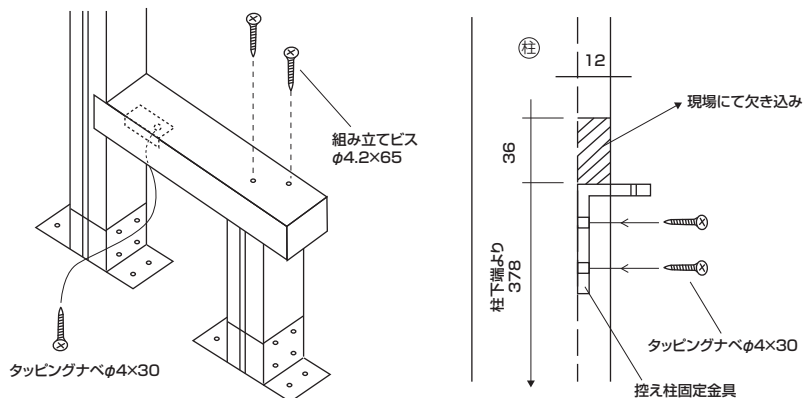
φ6mmの下穴(貫通)を開けてから専用ボルトを打ち込んでください。
※裏面の平ワッシャーとナットが大引き等に干渉する場合、下穴を深さ60mm以上あけてください。(このとき裏面の平ワッシャーとナットは使用しません。)

柱芯々が1200mm以上の場合

フェンスと下桟・上桟をカットしてご使用ください。
※ストライプフェンスについては一度片側の組み立てビスを抜いた後カットして、もう一度ビスを打ち込んでください。

5 控え柱の取り付け

- ① 右図寸法にて柱に欠き込みを入れてください。
- ② 控え柱固定金具を柱のミゾに固定してください。
- ③ 控え柱を床面と柱に固定してください。



〈別売品〉

必要に応じて弊社別売品をご注文ください。

部材名	品番
木材保護塗料 0.7L	WEKT11-□
木材保護塗料 4.0L	WEKT12-□

〈施工終了後〉



使用説明書の手渡し

同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。
使用される方が不在の際は、施主様に依頼するか製品に結び付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮ねがいます。